



長野縣護國神社

境内配置図



バスターミナル（松本駅前）より
信大横田循環線・浅間線追分停留所下車一分

 祝祭日には
国旗を掲げましょう



長野縣護國神社

〒390-0801

松本市美須々6番1号

社務所 (0263) 36-1377

美須々会館 (0263) 32-1979

F A X (0263) 36-0292

<http://www.e-office.gr.jp/gokoku/>

御祭神

長野県出身の明治戊辰の役以来大東亜戦争に殉ぜられた御英霊を奉斎

沿革

昭和十三年県民の総意によつて本県の中央であり旧陸軍歩兵第五十聯隊に隣接する現在地に仮殿が創建され、同年十一月鎮座祭を斎行し、長野県招魂社として鎮座されました。

昭和十四年には長野縣護國神社に改称し、内務大臣指定を受け、同十七年に現在の御社殿・斎館が竣工されました。

昭和二十一年神道指令により宗教法人として発足し、昭和三十三年神社本庁より別表神社に指定されました。

厳しい世情の中、御遺徳顕彰のため、歴史を重ねる毎に御遺族

出張祭典による祈願祭・お祓い

地鎮祭・竣工祭・家のお祓い等、皆様の御家庭・会社へお伺いし御奉仕いたします。

結婚式について

四季折々の情緒の中で、巫女の先導の下、長い石畳の参道を踏みしめながら神殿へとお進みいただきます。

厳かな結婚式の後には境内の鳥居の前にて記念撮影をいたします。お申し込みは早めに御相談下さい。

美須々会館の御案内

境内の清らかな緑の中にたたずむ美須々会館は、結婚披露宴を始め、七五三・お宮参りなどの御参拝後のお食事会、各種会議・展示会などで御利用頂けます。

また、隣接する弓道場は、高校生・大学生の練習場所、試合会場として御利用を承っております。さらに、美須々会館と併せて、合宿所としての御利用も可能です。お気軽に御利用の程お待ち申し上げます。

を始め崇敬者皆様の格別なる尊い御浄財の御奉賛を賜り、

弓道場・美須々会館の建設又、諸設備及び境内の整備を進める尊い周年の記念の事業が完成され、平成十六年には現在の社務所の新築、参道敷石工事他境内諸整備事業が県内外の皆様温かい御奉賛により竣工されました。

ここに謹んで御神霊に感謝の誠を捧げ、県民奉斎の神社として、その崇高な御神徳を敬仰し、郷土をはじめ祖国日本の永遠の平和と繁栄の御守護を祈念してやみません。

神域

境内の総面積は一〇、三五五坪余り（三四、一七二平方メートル）、樹木は昭和十七年までに県内市町村より献木され、四季の変化をこまやかに映し出す、野鳥の群れ集う「美須々の森」として、参拝者はもちろん市民の憩いの場としても親しまれております。

社務所



弓道場



結婚式



美須々会館





主な年中行事

一月 一日 歳旦祭	八月十五日 平和安全県民祭
二月十一日 建国記念祭	八月十六日 旧陸軍墓地慰霊祭
三月十日 祈年産業祭	九月秋分の日 秋分慰霊祭
三月春分の日 春分慰霊祭	十一月 六日 御鎮座記念祭
四月二十九日 例祭前日祭	十二月 六日 新穀感謝祭
三十日 例祭前夜祭	十二月二十二日 師走大祓式並越年祈願祭
六月三十日 夏越大祓式	十二月三十一日 除夜祭
八月十三日 献灯みたま祭	毎月六日 月次祭
八月十六日	毎月二十三日 永代命日祭

御祈禱・お祓いの御案内

初宮詣：生後 男子三十二日目 女子三十三日目に

初めて神社へお詣りする習わしです。

御都合に合わせてお詣り下さい。

七五三詣：三歳（男女児）・五歳（男児）・七歳（女児）

十一月十五日を中心にして、お詣り下さい。

厄除 祈禱：男性二十五歳・四十二歳・六十一歳

女性 十九歳・三十三歳・三十七歳・六十一歳

厄年の前年は前厄、後年は後厄

中でも男性二十五歳、女性三十三歳は大厄。

家内安全・商売繁昌・身体健全・交通安全・病氣平癒・開運招福

合格祈願・工事安全・心願成就・旅行安全・学業成就・八方除祈願

安産祈願・その他諸祈願

御祈禱・お祓い等は毎日受付御奉仕しておりますので、社務所までお申し込み下さい。

七五三詣



夏越大祓式



正月初詣



献灯みたま祭